

神奈川県立相模原支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和7年度 神奈川県立相模原支援学校 第3回学校運営協議会	
開催日時	令和7年10月14日（金）15:10～17:40	
開催場所	相模原支援学校 実習棟 2階 多目的室	
出席者	学校運営協議会委員7名（1名欠席、1名代理出席）、本校職員：事務局12名	
次回開催予定日	令和8年2月24日（火）を予定	
問合せ先	神奈川県立相模原支援学校 副校長 蒲原 泰広 電話 042-778-0818 FAX 042-778-4957	
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由
審議・会議経過	<p>1 会長・校長挨拶</p> <p>2 本日の日程について説明</p> <p>3 切れ目ない支援部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動報告 <p>4 学校評価部会 各グループ、学部の中間評価について</p> <p>（1）切れ目ない支援部会</p> <p>地域の関係機関と連携した学習や交流活動について報告が行われた。読み聞かせボランティアや高等学校・大学との交流、地域行事への参加、進路支援、50周年記念事業、PTA活動など、多様な取組が紹介された。</p> <p>⇒委員からは、地域と学校が双方向に関わり合う関係づくりの重要性や、活動を継続していくための視点、取組を地域に発信していく必要性について意見が出された。</p> <p>（2）学校評価部会（中間評価）</p> <p>教育活動の中間評価について説明が行われ、個別教育計画の作成プロセスや本人・保護者の意向の反映、教員の働き方改革と業務の精選について協議が行われた。</p> <p>⇒委員からは、業務改善の目的を明確にし、PDCAサイクルを意識した具体的な改善を進めていくことの重要性が示された。</p> <p>○学習支援・ICT活用</p> <p>ICTを活用した主体的な学習の取組について報告が行われ、ICTとアナログの特性を踏まえ、児童生徒一人ひとりに合った学習の工夫が共有された。</p> <p>⇒委員からは、AIやICTの活用と対面でのコミュニケーションとのバランスについて意見が出された。</p> <p>○地域連携・進路支援</p> <p>社会参加や就労を見据えた指導や、関係機関と連携した事業所見学等の取組について協議が行われた。</p> <p>⇒委員からは、取組内容を学校評価に反映させる工夫や、進路支援における連携の在り方について意見が出された。</p>	

	<p>○安全管理・防災教育 防災教育や教員の人材育成について報告が行われた。</p> <p>委員からは、福祉避難所としての備えや防災備品の充実、地域や行政との連携強化、PDCAサイクルを踏まえた防災体制の見直しについて意見が出され、今後の改善に向けた意見交換が行われた。</p> <p>3　まとめ 本協議会では、学校の取組を振り返るとともに、地域や関係機関と協働しながら教育活動及び学校運営をより充実させていくための多くの示唆が得られた。今後も委員からの意見を踏まえ、学校運営の改善と教育活動の充実に努めていく。</p> <p>4　事務連絡　次回第4回学校運営協議会は2月24日（火）開催予定</p>
会議資料	<p>01_R07 中間評価まとめ【資料1】</p> <p>02_1R7アンケート(保護者用・縦ルビ付)【資料2-1】</p> <p>03_2R7アンケート(教員用)【資料2-2】</p> <p>04_R7学校評価スケジュール【資料3】</p> <p>05_第1回学校生活アンケート報告【資料4】</p> <p>06_地域の関係機関と連携・協働した学習等の取組について【資料5】</p> <p>07_令和7年度ストレスチェック結果1【資料6-1】</p> <p>08_令和7年度ストレスチェック結果2【資料6-2】</p> <p>09_R7第2回学校評議会（記録）【資料7】</p>